山形県のアルストロメリア

11月限定でご紹介するのは、山形県鶴岡市で育ったアルストロメリア。
鶴岡市は庄内平野の中心に位置し、日本海に面した砂地の地域です。その砂地の特徴を活かしてアルストロメリアを栽培しています。

砂地だからコンパクト
砂地は土の畑に比べて水分や肥料分が少ないため、植物はたくましく育ちます。そのため育ちすぎる、ということがありません。
コンパクト、というとボリュームのあるアルストロメリアのマイナス面として捉えられそうですが、そうではありません。お花屋さんで見かけるアルストロメリアの中には花茎の部分が育ちすぎて、いわゆる“あばれた”姿に育っているものもあります。鶴岡のアルストロメリアはそういうことがなく、コンパクトな花姿のため、特にご自宅で飾るときには飾りやすいのです。

砂地だから必要なときに必要な分だけ
砂地は排水に優れているので、水や肥料分がどんどん浸み込んで、そして流れ出ていきます。流れ出る分、追肥や水やりの回数が多くなり、手間もかかります。一方で、余分な水や肥料分が残らないため、必要なときに必要な分の水や肥料を与えることができます。
必要なときに必要な分を与えることができるということは、育ちすぎや生育不良を避けることができるということです。

産地の厳しい選別基準
鶴岡市の花の生産者さんの中でも、アルストロメリアは若手生産者さんが多く、情熱をもって花の栽培をしています。1箱1箱、1本1本まで検品を行い、厳しい選別基準を満たしたアルストロメリアだけを出荷しています。

■楽しみ方

1．枝分かれした部分より下の葉は取り除いてください。（※2）

2．ゼリー状の保水剤を洗い流します。ボールなどに水をはり、その中で花の茎を斜めにカットします。斜めにカットすることにより、水の吸い上げがよくなります。

3．水500mlに対して、同封の花の活力剤1袋を薄めた水に花を活けます。活力剤を使用することにより、花びんの中のバクテリアを防ぎ、栄養を与えてきれいに開花しやすくなります。
※活力剤を薄めた水の余りは、冷蔵庫で保管していただくと、約1週間お使いいただけます。飲料用とお間違えないようご注意ください。

4．毎日約1cm切り戻すと、より長くお楽しみいただけます。

5．直射日光や冷暖房の風の当たらない場所に飾りましょう。涼しい場所の方が長くお楽しみいただけます。

※1　花粉が服などにつくと取れにくい場合があります。ご注意ください。

※2　この部分の葉は
取り除いてください。

株式会社良品計画　www.muji.net

お客様室電話　0120-14-6404
平日10:00～21:00/土・日・祝日10:00～18:00
（年末年始を除く）

Flower MUJI